



太陽電池でソーラーバッチ作り
 ■2月2日、別府センターで行われました。参加者は環境技術協会の職員からエネルギーについて学んだあと、太陽電池で動くバッチ作りに挑戦。できあがると相撲大会などで盛り上がりました。



ふれあい図書館まつり
 ■2月17日、サンフレッシュ枕崎で開催されました。読書講演や市内読み聞かせボランティアグループによる読み聞かせなどがあり、多くの親子が参加しました。



まくらざきハーモニーフェスティバル
 ■2月3日、地場センターで開催されました。中央大学の広岡守穂教授の講演やパネルディスカッションなどをとおし、男女共同参画社会への理解を深めました。



第25回枕崎市表現・ダンス発表会
 ■2月7日、市民会館で開催されました。市内の小・中学校、高校から10組が出演し、それぞれが体全体を使ったいきいきとした発表をみせました。



想像膨らませ 山幸彦像を制作
 ~彫刻家・田原迫華さんによるワークショップ

新枕崎駅舎に設置する鯉節行商の像と山幸彦の像を制作中の彫刻家・田原迫華さんによるワークショップ「私の山幸彦をつくろう」が1月27日、南浜館で行われ、中学生から一般までの16人が参加しました。参加者は田原迫さんにアドバイスをもらいながら、思い思いの山幸彦像を粘土でつくりました。朝弘美南さん(枕崎高2年)は「立体作品に初めて挑戦しました。人体の構造の表現方法などのアドバイスをいただき、いい経験になりました」と話してくれました。この日制作した作品は窯焼きし、新枕崎駅舎に展示する予定です。



川辺チーム健闘の総合3位
 ~第60回県下一周市郡対抗駅伝競走大会

第60回県下一周市郡対抗駅伝競走大会が2月16日から5日間の日程で開催され、川辺チームは連覇はなかったものの、総合3位と健闘しました。初日の16日は本市を通過。第8中継所の枕崎市役所では、枕崎中学校出身の瀬戸口文弥選手(鹿児島商業3年)から立神中学校出身の田畑庸祐選手にタスキがわたると、大歓声が上がりました。また、会場では恒例となった「まくらざきハーモニーネットワーク委員会」による茶節や腹皮のから揚げの振る舞いも大盛況でした。60回記念大会の今回、特別に設けられた中学生区間では、友生貴大選手(桜山中2年)が区間賞を獲得する活躍をみせました。



①2連覇を喜ぶスタッフ ②延べ200人を超えるボランティアスタッフが「枕崎鯉船人めし」の快進撃を支えました。 ③本大会2日間で約4万5000人が訪れました。

友生貴大くん都道府県男子駅伝に出場
 ~第18回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会

第18回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会が1月20日、広島市で開催され、鹿児島県代表として友生貴大くん(桜山中2年)が6区を走りました。友生くんは、周りの選手の多くが3年生である中、区間22位と健闘しました。1月25日に市役所を訪れ、神園市長に大会の結果報告をしました。友生くんは「全国のレベルの高さを肌で感じる事ができました。来年は中学生のペース区間である2区で出場できるよう頑張ります」と話してくれました。



金山ソフトテニス全国大会へ
 ~第12回全国小学生ソフトテニス大会

第12回全国小学生ソフトテニス大会鹿児島予選大会で金山ソフトテニススポーツ少年団の豊巻安里さん(立神小4年・写真右から2番目)と向江優衣さん(枕崎小4年・写真左から2番目)のペアが4年生女子ダブルスの部で準優勝し、3月29日から千葉県で開催される全国大会に出場します。同少年団の全国大会出場は5年ぶりのことです。豊巻さんは「初の全国の舞台。一点一点を大事にプレーしたい」向江さんは「今持っている力を出し切って一つでも多く勝ちたい」と話してくれました。



「枕崎鯉船人めし」2連覇!
 ~第3回Show-1グルメグランプリ

県内の商店街グルメナンバーワンを決める「第3回Show-1グルメグランプリ」の本大会が2月23、24日の2日間にわたり鹿児島市のかごしま県民交流センターで開催され、枕崎市通り会連合会(加藤隆一会長)の「枕崎鯉船人めしSP」がグランプリを獲得し、2連覇を達成しました。大会には14団体が出場。昨年10月から始まった地方大会と本大会を合わせた人気投票で競われました。加藤会長は「2連覇できたのは、スタッフをはじめ、枕崎から応援に駆けつけていただいた多くの方々のおかげです。最高の「チーム枕崎」になれたと実感しています」と話していました。